

# 広島工業大学と協定締結

## 地域発展・人材育成で連携

会部 術国 士本 技中

日本技術士会中国本部(大田一夫本部長)は12日、広島工業大学と包括的な連携・協力に関する協定を締結した。双方の

資源を有効活用することによって、教育・学術・科学技術・産業等の分野で、地域の発展や人材育成に貢献することがねらい。



調印式のもよう

同日、広島市佐伯区の同大学三宅の森 Nexus 21 で調印式が開催された。調印式には、中国本部から大田本部長をはじめ、福田直三副本部長、乗安直人事務局長ら5人、大学からは長坂康史学長、小黒剛成副学長、宗澤良臣共同研究機構長・産学連携推進センター長ら4人が出席。大田本部長と長坂学長が署名を行い、協定書を取り交わした。

大田本部長は挨拶で「今回の協定締結が単に双方に講師を派遣する人材育成の面だけでなく、地域社会が抱えるさまざまな課題の解決や、魅力ある地域づくりにも貢献し、お互いにウィンウィン

の関係になることを心から祈念している」と述べ、長坂学長も「地域社会における創造の拠点となる大学をめざしている。最終的には、広島を中心とした中国地方の活性化につなげていきたい」となどと語った。

連携・協力の具体的な内容としては▽大学の授業への技術士派遣、中国本部主催の講演会の講師としての教員派遣▽小中学生に対する理科教室の開催▽市民への防災教育、災害被災地への復興支援活動▽大学の研究シーズと企業ニーズを結び付けることによる新技術・新産業の創出などを想定。

これまでに中国本部は、津山・徳山・宇部・呉・松江の5高専以外に岡山理科大学とも同様の協定を締結。今回で7度目・7校目となる。